



## Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

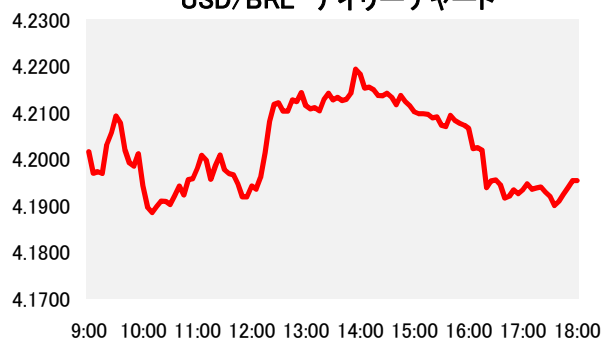
			11月13日	11月14日	11月18日	11月19日	11月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.1770	4.1890	4.2090	4.1990	4.1960	-0.0030
	BRL/JPY	Spot	26.060	25.870	25.81	25.85	25.89	+0.04
	EUR/USD	Spot	1.1007	1.1021	1.1074	1.1078	1.1059	-0.0019
	USD/JPY	Spot	108.78	108.43	108.65	108.55	108.59	+0.04
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	4.465	4.451	4.480	4.457	4.494	+0.037
	Future	1Year(p.a.)	4.552	4.584	4.615	4.606	4.674	+0.068
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.663	2.638	2.672	2.630	2.599	-0.031
	USD	1Year(p.a.)	2.637	2.560	2.563	2.532	2.514	-0.018
株式	Bovespa指数		106,059.90	106,556.90	106,269.30	105,864.20	107,496.70	+1,632.50
CDS	CDS Brazil 5y		121.37	122.18	124.73	126.09	127.18	+1.09
商品	CRB指数		180.312	180.088	179.178	177.155	180.728	+3.57

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
登録雇用創出合計	74500.00	70852.00	157213.00
(米)フィデリア連銀景況	6.00	10.40	5.60
(米)新規失業保険申請件数	218k	227k	227k
(米)失業保険継続受給者数	1683k	1695k	1692k

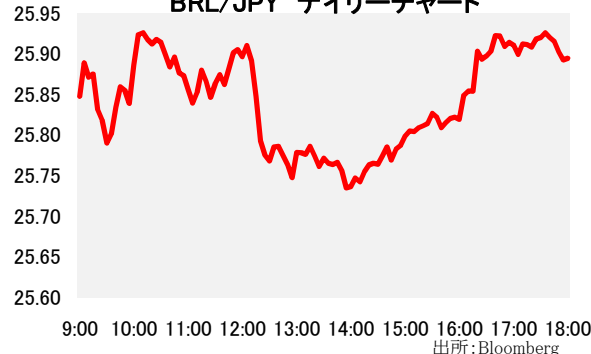
USD/BRL デイリーチャート



## 3. 要人コメント

(特になし)
--------

BRL/JPY デイリーチャート



## 4. トピックス

- 本日のレアルは小反発。レアルは4.2050で寄り付いた後、日中高値4.1850まで買いが進んだものの、その後は日中安値4.2230まで急反落した。英下院のバーコウ議長が、前週EUとの間で合意された新たな離脱協定案について、この日の採決を拒否したことが嫌気されドルが主要通貨に対して買われたことや、コロンビアで大規模ストライキが行われ域内の通貨が弱含んだことが背景。しかしその後、レアルは大口のインフローとみられる買いに押される形で再び上昇に転じ、結局4.1960でクローズしている。
- コロンビアではこの日、主要労働組合や学生などにより、現政権の経済政策に抗議する大規模なストライキが実施された。ドゥゲ政権に対して、各種助成金の削減や労働・年金改革の停止に加え、最低賃金の増額や社会保障の拡充を要求した。同国でのゼネストは2018年の現政権発足以来初めてで、エクアドルやチリでの左派運動に倣ったものとみられる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。